

神の永遠の定められた御旨を完成するために、献身、朝ごとの復興、牧養の生活をする
 聖書：詩 110:3. I ペテロ 1:8. 2:7. 哀 3:22-23. ヨハネ 21:15-17. 詩 23:1-6

I. 詩第 110 篇と第 23 篇は、神の永遠の定められた御旨を完成するために、献身、朝ごとの復興、牧養がいかに重要であるかを啓示しています：

A. 「あなたの民は、あなたの戦いの日に、献身の輝きの中で、自発のささげ物となる。

あなたの若者はあなたにとって、夜明けの胎から出る露のようになる」—— 110:3 :

1. 召会は墮落しましたが、何世紀にもわたって、献身の輝き、美しさの中で進んで自分を主にささげる者の路線がありました。わたしたちが進んで自分を主にささげるなら、神聖で天的な輝きをもって美しくされます——マタイ 26:6-13。

2. キリストはまた、わたしたちが夜明けの胎から出る露になって、彼が潤されることを必要とします：

a. もしわたしたちが朝早く起きないなら、朝の胎に入って、キリストを潤す露として身ごもる機会を失うでしょう。

b. わたしたちがこう言って主に応答しますように、「主イエスよ、わたしは夜明けの胎によって露を身ごもり生み出し、あなたが潤されるようにしたいです」。

B. 詩第 22 篇から第 24 篇はキリストを啓示する一組の詩篇であり、彼の十字架から、彼の牧養を経過し、来たるべき時代における彼の王国に至ります：

1. 詩第 22 篇はキリストの死、彼の復活、彼の多くの兄弟たちが彼の復活の中で生み出され、彼の召会を形成することについてです。

2. 今や召会が形成され、わたしたちは詩第 23 篇の実際の中に入る必要があります。第 23 篇は、復活における牧者としてのキリストについてです。これは新しい復興をもたらし、わたしたちを王国の時代に導きます。

3. 詩第 24 篇は、神の王国における来たるべき王としてのキリストについてです。

II. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、わたしたちの価値観を変えることによって、献身の生活をしなければなりません——マタイ 23:16-26. サムエル上 16:7. ルカ 16:15. 9:54-56. I ペテロ 3:4 :

A. 信者たちの正しい価値観は、キリストと彼の満ち満ちた救いの以下の各面に対する彼らの見方と評価に見ることができます：

1. 主イエスに対する評価——詩 118:22. I ペテロ 2:4, 7。

2. 十字架の言葉に対する評価——I コリント 1:18。

3. 人の日常の必要と比較した神の王国と義に対する評価——マタイ 6:32-33。

4. 彼らの親族と比較した主イエスに対する評価—— 10:37-38. ルカ 18:26-30。

5. 全世界と比較した人の魂に対する評価——マタイ 16:26. 4:8-11. 啓 18:13. I ペテロ 4:19。

6. 罪の重大さと終局と比較した彼らの体に対する評価——マタイ 18:8-9。

7. 主の奴隷となり、また互いに奴隷となることと比較した聖職者階級に対する評価—— 20:25-27。

8. 地の宝と比較した公正の宝としてのキリストに対する評価——ヨブ 22:23-28. マタイ 12:18-21. イザヤ 42:1-4。

9. 見えない褒賞と比較した罪の享受に対する評価——ヘブル 11:24-27。

10. 万物と比較したキリストを知る知識に対する評価——ピリピ 3:7-8. I ペテロ 1:8。

B. わたしたちは、主が光を与えて価値観を徹底的に変えてくださり、絶えずキリストと彼であるすべてを、わたしたちの超越したすばらしい分け前として、わたしたちを選ばせてくださるようにと求める必要があります——マルコ 9:7-8. II コリント 2:10. 4:7. I ペテロ 1:8.

C. 「もし、あなたが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、あなたはわたしの口のようにになる」——エレミヤ 15:19. 参照、16 節。

III. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、朝ごとの復興の生活をしなければなりません——哀 3:22-23. 詩 119:147 :

A. わたしたちは毎朝、主イエス、すなわちわたしたちの太陽に、わたしたちの中で昇っていただき、わたしたちが新しくされることができるようになっていただくべきです——II コリント 4:16. 士 5:31. 箴 4:18.

B. 「祭壇の上の火は、その上で燃え続けさせなければならない。それを消してはならない。祭司は朝ごとに薪をその上で燃やし、全焼のささげ物をその上に並べ、平安のささげ物の脂肪をその上で焼いて煙を立ち上らせなければならない。火は祭壇の上で絶えず燃え続けさせなければならない。それを消してはならない」——レビ 6:12-13 :

1. 祭司が朝ごとに薪を祭壇の上で燃やすことは、奉仕する者が神の願いと協力する必要があることを表徴し、それはさらに多くの燃料を聖なる火に加えて、燃焼を強化し、神の食物としての全焼のささげ物を神に受け入れていただくことによります（参照、ローマ 12:11. II テモテ 1:6-7）。朝は燃やすための新しい開始を表徴します。

2. 全焼のささげ物を焼くことは、平安のささげ物の甘さの基礎を据えました。これが示すのは、わたしたち自身を常にささげる全焼のささげ物として神にささげることが、わたしたちと神との甘い交わり（平安のささげ物の脂肪を焼くことで表徴される）のための基礎として据えられるべきであるということです。

3. 全焼のささげ物と平安のささげ物を焼くことは、わたしたちが神のために絶対的であること、三一の神に対する享受が焼く事柄であるべきであることを表徴します。

C. 日ごとに新しくされる復興を持つことは、日ごとに新鮮である造り変えを持つことです。わたしたちが全生涯この造り変えの中にとどまっているなら、主の命の中で成長し、円熟するに至ります——II コリント 3:18. ローマ 12:2. ヘブル 6:1 前半。

IV. わたしたちは神の永遠の定められた御旨を完成するために、牧者となり、神にしたがって人を牧養する生活をしなければなりません :

A. 主は使徒の務めと主の天の務めを合併して、神の群れ、すなわち召会を顧み、キリストのからだをもたらしました——ヨハネ 21:15-17. 使徒 20:28. I ペテロ 5:2.

B. エホバとしての昇天したキリストは、五つの段階においてわたしたちの牧者です——詩 23:1 :

1. 緑の牧場と憩いの水辺での享受—— 2 節。

2. 義の道での復興と造り変え—— 3 節。

3. 死の影の谷を通しての、復活した霊なるキリストの臨在の経験—— 4 節。

4. 戦場での、復活したキリストのさらに深く、さらに高い享受—— 5 節。

5. エホバの家での神聖な良きものと慈愛の生涯にわたる享受—— 6 節。